

みんなのみとよ



すくすく
通信

箱浦幼稚園

「地域の皆さん、いつもありがとう」

海と山に囲まれた自然豊かな箱浦幼稚園。一步園外へ出ると、「おはよう、どこへ行きよん？」と、地域の皆さんの優しい声がかかります。『英語で遊ぼう・お作法教室・絵本の読み聞かせ・季節の野菜や花作り・田植え・わらべ歌』など、数多くの体験活動を、この地域のボランティア先生が支えてくれています。



11月にボランティア先生から「みんなが田植えをしたお米だよ」と、届いたたくさんの新米。子どもたちと相談して、日ごろお世話になっている地域の皆さんへ『感謝の日』の催しを開き、おにぎりを作って食べていただくことにしました。子どもたちは手作りのポスターを貼ったり、手紙を出したりして案内しました。

心待ちにしていた当日は、昔の遊びや獅子舞を教えてもらい交流を深めました。そしていよいよ楽しみにしていた、おにぎり作りです。子どもたちが具材を聞いたり、配膳をししたりして、みんなでラップのおにぎりを作りました。無農薬にこだわった地域のお米。「おいしいな」「おかわり！」の元気な声がかどまし、ふだんは少食の子どもも、大きなおにぎりを笑顔でおばりました。

地域の皆さん、いつもありがとう！

「これで、だいじょうぶかな」

「獅子舞、楽しいね」

2個も食べたよ



2個も食べたよ

大見小学校

みんなで取り組んだ『金の大仏』作り

大見小学校の6年生は、総合学習で『金の大仏』の模型作りに取り組みました。そのきっかけは、修学旅行で見た東大寺の大仏のインパクトの大きさと、ガイドさんの「出来上がった時は金色だった」という言葉です。

6月から大仏を作り始め、夏休みにも少しずつ形を作っていました。苦労したことは、大仏の立体的な形を作ることです。なかなか思うような形にならずに、何度も作り直しました。作業が進まなくていらしたり、みんなの気持ちがかたたりした時期もありましたが、大仏の形が出来上がるにつれ、みんな真剣に取り組むようになりました。そして、仕上げには金の色紙をていねいに貼り付けていきました。使用した金の色紙は400枚にもなりました。出来上がった時はみんな大喜びです。



大見地区文化祭
劇「大仏ができるまで」

この『金の大仏』は6年生19名の協力の結晶です。本当にきらきらとまぶしく光り輝いています。

そして、11月の文化祭では、地域の皆さんに金の大仏を紹介しました。奈良時代の聖武天皇の大仏建立の願いや、自分たちが大仏づくりを通して学んだことを盛り込み、『大仏ができるまで』という劇にまとめました。台本や衣装、小道具などすべてオリジナルです。小学校最後の文化祭はとても忘れられないものになりました。

現在、金の大仏は、ランチルームで大見の子どもがすくすく育つように見守ってくれています。



詫間町図書館

読書感想文(画)集ができました！



今夏、町内の学校から募集した作品が文集になりました。

どの作品も、子どもたちがしっかりと本の内容を読み取り、絵や文章に表現しています。

問い合わせ 詫間町図書館 83-6828

おはなしの会

読み聞かせや工作があり、子どもと一緒に保護者も楽しめます。気軽に遊びにきてください。

日時 毎月第1、3土曜日 午後 2時～
第2、4土曜日 午前 10時～

場所 詫間町図書館会議室

図書交換会

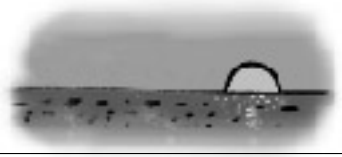
読まなくなった本を持ってきた冊数分、ほかの本と交換できます。汚れ・傷みのある本、雑誌、参考書等の交換はできません。

日時 毎月第3土曜日 午前 10時～正午

場所 詫間町図書館ロビー

近くの国のお正月

今月は、中国と韓国のお正月について、それぞれ国際交流員の ウー ウェイ 呉 衛さん、チェ ヨンジン 崔 榮晋さんに紹介してもらいます。日本の正月と似ているところもあるみたいですね。



中国のお正月

おおみそかの夜は中国の人たちにとって、1番大切な時間です。なぜなら、いくら離れて暮らしていても、この日は家族と一緒に過ごす日と決まっているからです。そして家族全員が集まって主に3つのことを行います。まず家族全員そろって食事をする「団圓飯(トアンユアンファン)」。ここでの定番は手作りの水餃子です。次にご先祖様を祭る「祭祀(ジースー)」。そして3つ目は「守歳(ショウスイ)」とって、家族全員で年が明けるまで起きて過ごします。

元日も家族でのんびりと過ごすことが多く、おおみそかにたくさん作っておいた餃子を食べます。また、2日、3日は「回娘家(ホイニャンジャ)」といい、嫁いで行った娘夫婦が実家に帰り、久しぶりに一緒に過ごす日です。

日本では門松を飾りますが、中国では「春聯(チュンリエン)」と「門神(メンシェン)」を門に貼ります。「春聯」とは、今年1年を振り返った言葉と来年への望みを語る言葉を、それぞれ1枚ずつ赤い紙に書いたものです。「門神」とは2枚の絵のことで、唐時代の大將軍の秦叔宝(チンシュバオ)と尉遲敬徳(ウェイチージンデ)の2人がそれぞれ描かれており、魔除けの役割を果たしています。門松と同じように家の入り口に飾りますが、意味合いは少し違うようです。

“ 祝大家鼠年快樂、全家幸福！ ”

「新年(ねずみ年)が皆さんにとってよい年となり、家族みんなが幸せでありますように！」



韓国のお正月

韓国で「正月(ソル)」とは、家族みんなが集まりお祝いする旧暦の元日のことで、西暦でいう元日は「新正(シンジョン)」といいます。「ソル」とは韓国語で「新しい年を迎え、慎んで行動し1年を計画する」という意味があります。

4月号の広報でもお伝えしたように、韓国では正月(ソル)の朝、つまり旧暦の元日の朝、まず先祖に「茶礼(チャーレ)」という礼拝を行い、新しい1年を無事に過ごせるようにお祈りします。そして、祖父、祖母、父、母の順に新年のあいさつ「歳拝(セベ)」をします。こうして先祖や目上の人への新年のあいさつを行った後、「トックッ」という日本のお雑煮のような料理を食べます。この「トックッ」には、うるち米で作った細長い餅をスライスして入れます。もとは細長い棒状の餅を食べるので「長生きできますように」という願いと、スライスした餅をたくさん入れて作ることで「豊かな年になりますように」という願いが込められています。

韓国では通常数え年で年齢を数えるので、正月になるとみんな歳をとるのですが、「トックッ」を食べないと歳をとらないとされています。私も幼いころは早く大人になりたいと願い何杯も食べたものですが、最近では歳をとり過ぎないように1杯だけに控えています！

“ セヘボッ マニ バドゥセヨ ”

「明けましておめでとうございます」



シリーズ
No. 19

なんなん? 食育

高瀬町学校給食センター

夏休みにみそ作りをしています

高瀬町学校給食センターでは、給食のない夏休み中の4日間を利用して、みそ作りをしています。出来上がったみそは4カ月ほど寝かして年明けから使い始め、おおむね10月ごろまで「みそ汁」や「さばのみそ焼き」などに利用します。

作業工程の一部



こうじと湯で、大豆と塩をかき混ぜる



をみそ練り機にかける



出来上がったみそを寝かすために樽に詰める

材料	米 (香川県産) 128 kg	塩 4 kg	【出来上がり量は316 kg】
	大豆 (香川県産) 62 kg	こうじ菌 100 g	

アンコール料理に **登場する人気メニュー**

「さばのみそ焼き」



材料(4人分)

さば 65g x 4切れ みそ 大さじ1.5
砂糖 大さじ1
みりん、しょうが汁、ごま 適量

作り方

混ぜ合わせた調味料にさばをまぶし、一切れずつアルミカップに入れる。オープンまたはグリルで、中温(200)で10~12分程度焼く。